

# IBM Cloud Containerサービス Meltdown/Spectre脆弱性問題対応 について

日本アイ・ビー・エム株式会社

クラウド事業本部

2018/1/22 第1.0版

# 本資料について

IBM Cloud Containerサービスに於けるMeltdown/Spectre脆弱性対応について、補足的な説明を行うことを目的としております。

公式的な発表となったBlog Postの情報を補うもので、最新の情報はBlog Postもご確認ください。

Blog Post (日本時間2018/1/13に公開)

<https://www.ibm.com/blogs/bluemix/2018/01/taking-action-secure-ibm-cloud-container-service-recent-spectre-meltdown-security-vulnerabilities/>

# IBM Cloud Containerサービスにおける対応

2018年1月3日にご案内差し上げましたとおり、2018年1月5日から1月8日にかけてIBM Cloud DCにおいて順次ハイバーバイザーの再起動を行いました。

IBM Cloud Containerサービスが提供するKubernetes環境のうち、マスター・ノード、ワーカー・ノードについてはこれ以外に各ノードを稼働するVMのカーネルに脆弱性パッチを適用する必要があるがございます。マスター・ノードについては弊社が管理するため、すでにパッチ適用済みですが、ワーカー・ノードについてはお客様にて提供いただく必要があるがございます。簡単な手順について次ページでご説明致します。

各ノードに適用されるパッチにはVMのカーネルとして稼働するLinuxを提供するUbuntuにより提供された脆弱性対応の更新が含まれます。

# ワーカー・ノードに対する脆弱性問題の対応

ワーカー・ノードの再ロード(Reload)もしくはは更新(Update)を行う必要があります。

## 再ロード(Reload):

ワーカー・ノードを構成する構成ファイルを再ロードします。

以下のコマンドを実行します。

```
bx cs worker-reload <クラスターの名前> <ワーカー・ノード1の名前> <ワーカー・ノード2の名前>  
(複数のワーカー・ノードを対象とする場合には半角スペースで区切り上記のように記述します。)
```

## 更新(Update):

ワーカー・ノードのバージョンを更新します。

以下のコマンドを実行します。デプロイを行うためのYAMLファイルの編集が必要となります。またダウンタイムが発生するなど注意が必要な部分もございます。そちらはこちらをご覧ください。

[https://console.bluemix.net/docs/containers/cs\\_cluster\\_update.html#worker\\_node](https://console.bluemix.net/docs/containers/cs_cluster_update.html#worker_node)

以下のコマンドを実行します。

```
bx cs worker-update <クラスターの名前> <ワーカー・ノード1の名前> <ワーカー・ノード2の名前>  
(複数のワーカー・ノードを対象とする場合には半角スペースで区切り上記のように記述します。)
```

# 実行結果の確認

ワーカー・ノードが以下のバージョン以降となっていることを確認します。

1.5.6\_1506

1.7.4\_1506

1.8.6\_1604

以下のコマンドで確認できます。

`bx cs workers <クラスター名>`

```
$ bx cs workers my-cluster
```

OK

ID	Public IP	Private IP	Machine Type	State	Status	Version	
<code>kube-lon04-xxxxxxxxxxxxxxxx-w1</code>	999.999.999.999	10.99.99.99	u1c.2x4	normal	Ready	1.7.4_1506	→対応済
<code>kube-lon04-xxxxxxxxxxxxxxxx-w2</code>	999.999.999.999	10.99.99.99	u1c.2x4	normal	Ready	1.7.4_1503	→未対応

注: マスター・ノード(Kubernetes APIサーバー)のバージョンではありませんのでご注意ください。

IBM